

## ご挨拶

会長 豊田勝良

全国各地から桜の便りが届き始めました。石神井公園の桜、石神井川沿いの桜並木、毎年の事ですが、満開の桜を見るたびに感動を覚えます。

町会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より町会活動に対しましてご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

本年度最後の町会活動、文化交流部主催の文化展を男女参画センター「えーる」に於いて先月3月14、15、16日に開催、無事終了、作品を出品して頂きました、町会員の皆様ありがとうございました。この活動をもちまして令和6年度の町会活動も全て無事終了致しました。ありがとうございました。

本年度も昨年度同様、町会員の皆様が安心して、安全に暮らせる町づくりを念頭に置いて活動して行きたいと思います。先月、防犯・交通部により10台の防犯カメラを設置しました。現在町会内に20台の防犯カメラが稼働しています。少しでも犯罪の抑止力になればと思います。次に大規模災害に対して町会として如何に備えていくか、町会としてどこまで出来るのか考えていきたいと思っています。

本年度最初の町会活動は、先月回覧でお配りしたリサイクル部の廃品回収日予定表に記載されている毎月第1、第3土曜日の新聞、段ボール、衣類などの廃品回収です。このお金は、リサイクルの啓蒙活動や、町会の防災活動等に使われます。又、東日本大震災では、義援金として2百万円を、能登半島大震災では50万円を送ることが出来ました。練馬区でも毎月、月曜日に廃品回収を行っています、是非とも町会の廃品回収日をお願いします。

本年度、一番大事な町会活動、石神町会総会を5月11日に開催します。昨年度の活動、決算内容、本年度活動予定、予算案を審議して頂きます。又、昨年度開催した班長会を総会後の懇親会で開催したいと思っています。新旧班長さん、町会員の皆様の御出席をお待ちしております。

**令和7年 総会・班長会 開催のお知らせ**

石神町会通常総会を下記のとおり開催致します。どなたでも参加いただけます。総会后、班長会で皆様の懇親も予定しており、ふるってご出席頂けるようご案内申し上げます。

日時 **令和7年5月11日(日)**場所 **庁舎5階 第1、2、3会議室**

第1部 総会 14時～15時

第2部 懇親会(班長会を含む) 15時～16時

総会後の班長会では情報、意見交換を通じて新班長さん(代理・関心のある方どなたでも可)と町会役員との懇親・コミュニケーションの向上の場にしたいと思っています。





## 交通防犯部

## 防犯カメラの追加設置

カメラの視界内に通った犯罪者の姿を自動的に写す防犯カメラは、犯罪者に事前の警告を与えると同時に、犯行後の逃亡の際の姿をも撮ることで、犯人の迅速な逮捕にもつながっています。石神町会では、かねて 10 機の防犯カメラを町会独自で設置していました。これに加えて、今年 3 月に 10 機の防犯カメラを増設し、その施工が完了。町会内には計 20 台のカメラが設置されています。

これにより町会内の町会員を安全に守る防犯体制はより強力になりました。しかし今回の設置場所は、従来と違い住宅地の中なので、個人のプライバシーを侵犯する場合もあります。そのような場合があった時は、技術的に回避できますのでお申し出ください。防犯カメラについての問い合わせは、[気楽な家 ☎ 03-5393-1023](tel:03-5393-1023)までお寄せくださるようお願いいたします。防犯部の方から、後日連絡させていただきます。



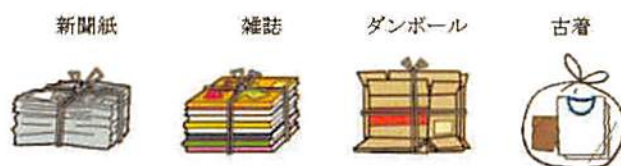
## リサイクル部

## 集団回収報告

◎令和 6 年度の総回収量 36.220kg (前年比約 3%増)

|    |       |          |
|----|-------|----------|
| 内訳 | 新聞    | 15.150kg |
|    | 雑誌    | 7.810kg  |
|    | ダンボール | 8.640kg  |
|    | 衣類    | 4.620kg  |

◎回収に伴う区からの報奨金 ¥239.052



昨年 1 月に起きた能登の地震災害に、積み立てている報奨金の中から 50 万円を支援金として送らせていただきました。

◎令和 7 年度の回収予定表 (黄色い紙) は 3 月中に配布しました。

◎昨年の 10 月に町会のバス旅行で「東京湾埋立処分場」の見学に行きました。リサイクルは「ごみ削減」の一環です。その観点で興味深く見学してきました。広大な施設の中で、大きな処理施設が稼働するとともに膨大な量の不燃ゴミや粗大ゴミから金属や内蔵電池などを手作業で取り出している姿がありました。また埋立地から出るメタンガスは発電に利用、染み出す雨水などは何度も処理をして放出する等、できる限りのリサイクルと環境保全が行われていました。

また同日「江戸深川資料館」にも行きました。江戸の町が再現されているのですが、そこはごみのない町でした。それを可能にしたのは、いろいろなものをゴミにしないために、地域ぐるみで協力し行動していたからだという説明がありました。これは現代にも通じることではないでしょうか。両施設を見学して、ゴミのこと、処分のこと、リサイクルのことを考えると、その入り口である私たち一人一人の小さな行動が本当に大切だと実感しました。

◎「リサイクルは地球サイズの思いやり」をスローガンに今年も皆様のご協力をお願いします。



## 文化交流部

### 「歩く会」を企画中です

毎年春には「歩く会」を実施し会員の皆様と楽しく歩いて交流を深めています。今年は只今企画を練っています。決まりましたら回覧板、掲示板にて発表いたします。皆様の参加をお待ちしています。

3月14日（金）～15日（日）に練馬区立男女共同参画センターえーるにおいて「文化展」を開催しました。5歳～97歳の30名の方が出品してくださいました。絵画、手工芸、書、写真など様々な作品が寄せられました。古地図も展示され興味深く見られました。来年に向けて作品を制作して出品してはいかがでしょうか。はじめは恥ずかしいかもしれませんが、ご披露してください。



## 地域福祉部

### 越中八尾の「おわら踊り」講習会のお勧め

令和6年の盆踊り練習会には、延べ187名の参加があり、6月7月の夏季期間に盆踊りで身体を動かす楽しみを味わいました。

盆踊り練習会は夏の2か月だけでしたが、この“踊りで体を動かす楽しみ”を、年間を通じて味わうことができる「おわら踊り」講習会について若干ご紹介し、皆様に参加をお勧めしたいと思います。

「おわら踊り」は富山県を代表する盆踊りで、9月1日から3日間、山間の小さな町・富山市八尾町で行われる「おわら風の盆」では、哀愁の調べが風情ある街並みに響きます。街にぼんぼりが点される頃、地方（じかた）の奏でる三味線と胡弓の哀愁を帯びた独特の旋律と歌声が響き渡り、おそろいの浴衣に身を包んだ踊り子たちが、編笠に額を隠し街を練り歩きます。



「おわら踊り」講習会は、練馬富山県人会が毎月2回、石神井公園区民交流センターの2階集会室で行っているもので、豊年踊り、女踊り、男踊りの3種類の踊りの講習を行い、その成果を6月の文化祭などでご披露しています。講習は富山県人に限らず、だれでも参加できます。会費は毎回500円です。折角、地元の石神井区民交流センターで行われているので、踊りで体を動かす楽しみを1年を通じて味わうために、多くの皆様の参加をお勧めします。気軽にご参加ください。

令和7年の「おわら踊り」講習会の予定は以下の通り。会場は石神井公園区民交流センター2階集会室で、午後1時から約3時間行います。

☆4月6日（日）

☆4月20日（日）

5月以降は、石神井区民交流センター空調設備改修工事のため、会場を男女共同参画センター・えーるに移して行います。5月はえーるの3階和室大で午後1時から行います。

☆5月10日（土）

☆5月31日（土）





## 防災で先ずやることは何？

大規模災害が起こる確率が高いと不安を煽られています。いざ災害に遭った時にどうすべきか。防災マップなどで衆知されている小中学校の「避難拠点」に先ず行くべきなのか。しかし沢山の人が集中してしまうとかぎられた不自由なスペースの中、プライバシーも確保されません。自分の住むところが、倒壊せず、火災の心配がないなら住んでいる自宅で在宅避難をすることを区は勧めています。もし避難するなら、ブレーカーを落とす事が大事です。避難拠点は、情報を得、必要物資を買いに行く所と位置付けられています。



昨年の町会の防災訓練で、能登の救援に行った消防署の方が、個々の家で防災の為にすべきことを、話されました。命を守るのがなんといっても大事。①自宅で災害が発生した時に一番危険なのは、家具の転倒で怪我をする事だそうです。転倒を防止できる器具を家具に自分で設置。②また災害では火が出る事多く、大火になります。火が小さい初期に家庭用消火器で消火することが、大事とのことでした。

防災訓練というと、全体が巻き込まれるカオスの災害現場で必要と思われる手わざの訓練が多いのですが、その前に個々の家庭で、防災予防の器具を自分の手で設置する事が肝心ようです。

### 石神井障害者地域生活支援センター ういんぐ



石神町会のみなさま、こんにちは！地域生活支援センターういんぐです。

「ういんぐ」は、障害のある人たちやその家族が地域で孤立せず、安心して自分らしくいきいきとした生活が送れるように一緒に考え、サポートするところです。電話や面接で気軽にご相談いただけます。自由にくつろげるオープンスペースの開放、花壇の手入れや創作活動などのプログラムを開催しています。昨年度はコロナ禍により縮小していたプログラムを再開・拡大しました。12月に開催したクリスマス会ではういんぐメンバーが得意なことや作品などを発表したり、10月や3月のチルコロ石神井のお祭りでも多くのメンバーが準備から当日まで一緒に運営をし、地域の方々と一緒に楽しませてもらいました。

また先日開催された石神町会文化展では、メンバーの作品を出展させていただきました。その他にも町会の赤いベストを着て、掲示のポスター貼り活動を行っています。今年度はゴミ拾いの活動も増やしていこうと考えています。

今後も地域での活動、障害や地域福祉への理解を深めていけるよう活動を行って行きたいと思います。ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

【問合せ先】 石神井障害者地域生活支援センターういんぐ

〒177-0041 東京都練馬区石神井町 7-3-28 石神井保健相談所併設

